



GR

SIDE:GRIM REAPER

VECTOR

グリムリーパー：ヴェクトール

1/48

SCALE PLASTIC MODEL KIT

GOOD SMILE COMPANY

MODEROID

GOOD SMILE COMPANY MODEL KIT SERIES

CAUTION

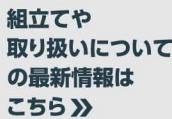


必ずお読みください

- 商品の対象年齢は15才以上です。鋭い部品があるため、安全上15才未満には適しておりません。
- 窒息などの危険がありますので、小さな部品を口の中に入れないよう注意してください。
- パーツの誤飲などの危険があります。ご家庭に小さなお子様がいる場合、必ずお子様の手の届かないところに保管し、絶対にお子様には与えないようにしてください。
- 窒息などをされる恐れがありますのでパーツ梱包用のビニール袋で顔を覆ったり、頭から被ったりしないでください。
- 塗装を行う際は、必ず換気を良くしてください。

組立て時の注意

- 組立ての前にこの説明書をよく読んでください。
- 部品は番号を確かめてから、ニッパーなどで切り取ってください。切り取った時に出的クズなどは捨ててください。
- パーツの誤飲などの危険があります。ご家庭に小さなお子様がいる場合、必ずお子様の手の届かないところに保管し、絶対にお子様には与えないようにしてください。
- 塗装を行う際は、必ず換気を良くしてください。



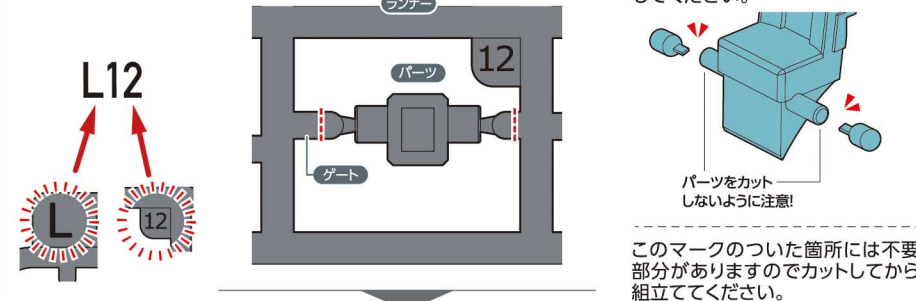
組立てや
取り扱いについて
の最新情報は
こちら

パーツをさがす

組立て説明書のパーツ番号と同じ番号をランナーから探します。

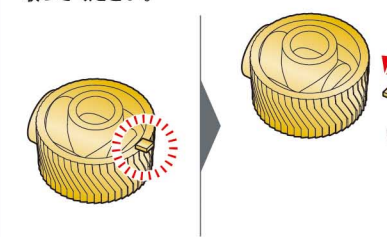
パーツのカット

各パーツはゲートでランナーとつながっています。ニッパーなどを使って、パーツから少しはなれた位置でゲートをカットします。



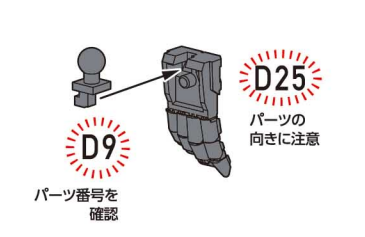
アンダーゲートの切り方

アンダーゲートと表記されているパーツには裏側にゲートがあります。ドの印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



パーツの組立て

図の矢印に従ってパーツを組んでいきます。特に指定がない場合、接着剤は必要ありません。



MSS-41 匠TOOLS
極薄刃ニッパー
(別売り)

MODEROID組立ての味方!
プラスチックモデルのパーツ切り
取り用として、切れ味・使い心地・
耐久性全てにこだわり抜いて
作られた一品です!



詳しくは
こちら

ASSEMBLY INSTRUCTIONS

01 頭部の組立て

02

03

04 胸部の組立て

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

図中の記号説明 組立てに注意 2 数字の個数を組立てる 1 2 数字の順番に組立てる

ASSEMBLY INSTRUCTIONS

14

15 腰部の組立て

16

17

18

19

20

21

22

23

24 ヨックピットの組立て

25

26

27

図中の記号説明 組立てに注意 2 数字の個数を組立てる 1 2 数字の順番に組立てる

ASSEMBLY INSTRUCTIONS

28

29 肩部の組立て

30

31

32

33 腕部の組立て

34 右腕の組立て

35

36

図中の記号説明 組立てに注意 2 数字の個数を組立てる 1 2 数字の順番に組立てる

37 左腕の組立て

アンダーゲート
UNDER GATE

VE4

VE7

VE8

VE10

VE5

38

33

39

32

38

40 足首の組立て

2セット
組立てます

VF1

VJ2

VF12

VF13

VF4

VF7

41

VH1/
VH5

40

42

VF2

41

43 脚部の組立て

2セット
組立てます

18

16

I7

I12

44

アンダーゲート
UNDER GATE

VF6

VH11/
VH12

VJ4

45

VJ6

L4/
L5

46

VJ9

VJ5

L9/L10

VF3

46

VF15

VF9

47

49 右脚の組立て

向きを変えます。

44

向きを変えます。

49

VF5

43

50

VJ3

VJ1

51

52

アンダーゲート
UNDER GATE

I11

H1

I9

53

VG1

51

54

53

48

42

55

前に倒します。

向きを変えます。

54

VF8

56 左脚の組立て

向きを変えます。

44

向きを変えます。

56

VF5

43

57

VJ3

VJ1

58

59

アンダーゲート
UNDER GATE

I11

H2

I11

60

VG2

58

61

60

48

42

62

前に倒します。

向きを変えます。

61

VF8

59

アンダーゲート
UNDER GATE

I11

H2

I11

60

VG2

58

61

60

48

42

62

前に倒します。

向きを変えます。

61

VF8

63 手首(右)の組立て

握り手

D4

D20

D27

VA1

D11

開き手

D9

D25

VA4

D6

銃持ち手

V12

D1

D26

VA6

D18

D13

武器持ち手

V14

D10

D28

VA11

D22

D12

64 手首(左)の組立て

握り手

D23

D19

D7

D16

VA2

開き手

D24

D2

D5

VA3

銃持ち手

V11

D3

D33

D21

VA5

D14

武器持ち手

V13

D8

D32

D17

VA10

D15

65 完成

THE シンプルスタンド×3
(別売り)への取り付け

THE シンプル
スタンド×3
については
コチラ

QRコード

66 武器の組立て

VK26

VK17

VK7

67

VK24

VK19

VK15

68

VK28

VK2

69

VK20

VK3

70

VK13

VK27

VK6

71

VK4

VK23

VK8

72

VK12

VK9

73

VK14

VK22

72

74

VK25

VK16

75

VK30

VK1

VK29

76

VK18

VK10

77

お好みのパーツを組み合わせて組立ててください。

VK11

66

67

68

VK31

70

71

73

74

75

76

VK5

VK21

78 銃器グリップの
持たせ方

銃持ち手

一旦、親指を
取り外します。

73

VK21

79 脚部を垂直立ちさせる場合

右脚

向きを変えます。

一旦取り外します。

VF14

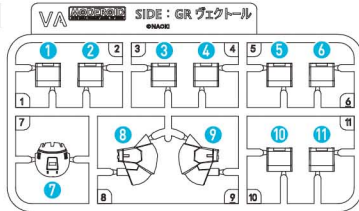
VJ7

VF14



パーツリスト

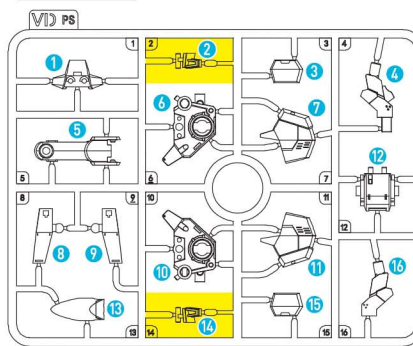
VAパーツ×1
(PS製)



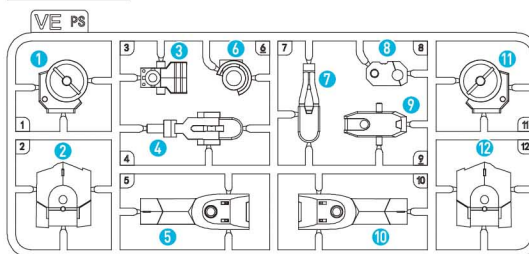
VBパーツ×1
(PS製)



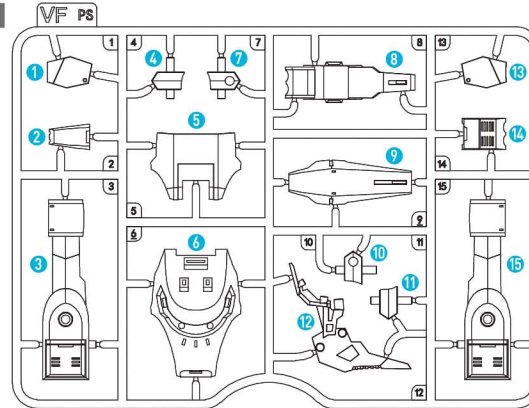
VDパーツ×1
(PS製)



VEパーツ×2
(PS製)

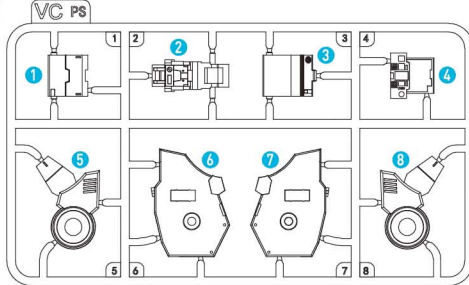


VFパーツ×2
(PS製)

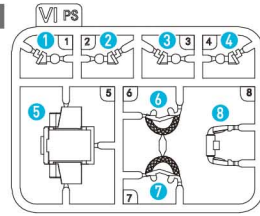


※VF4、VF7、VF10、VF11は一つずつ予備があります。

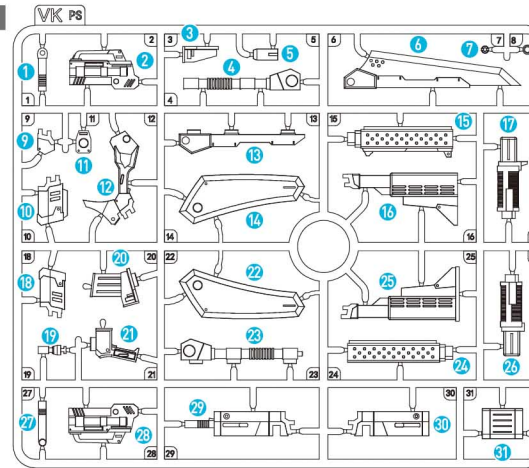
VCパーツ×1
(PS製)



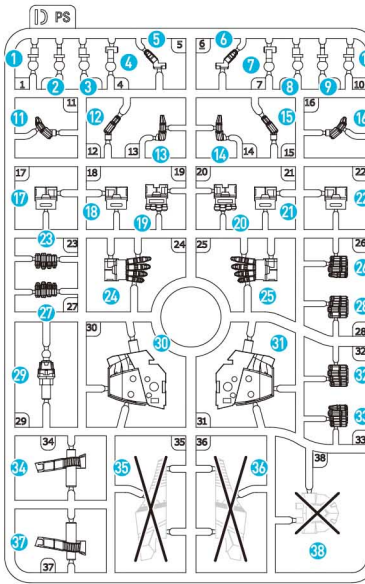
VIパーツ×1
(PS製)



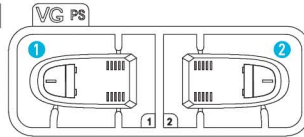
VKパーツ×1
(PS製)



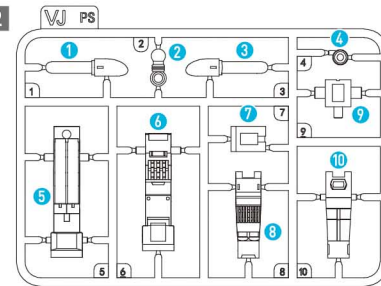
Dパーツ×1
(PS製)



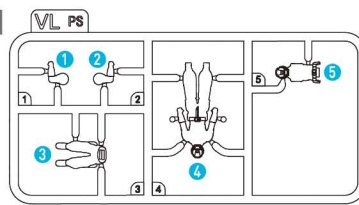
VGパーツ×1
(PS製)



VJパーツ×2
(PS製)



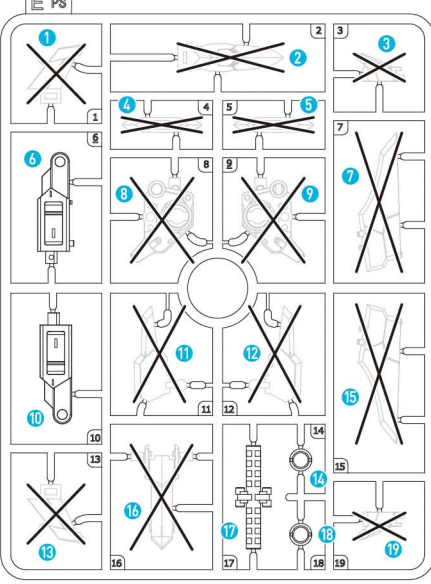
VLパーツ×1
(PS製)



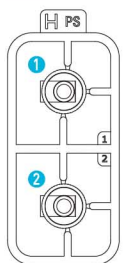
VMパーツ×1
(PS製)



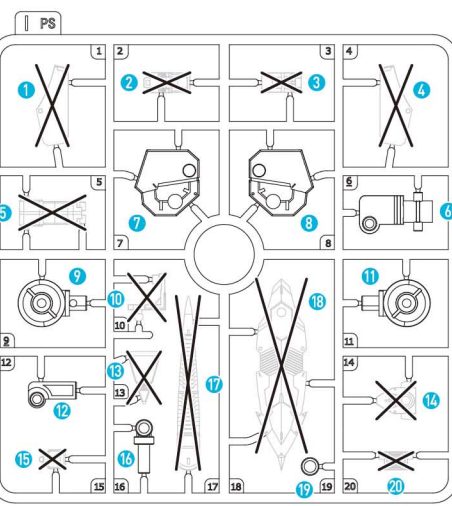
Eパーツ×1
(PS製)



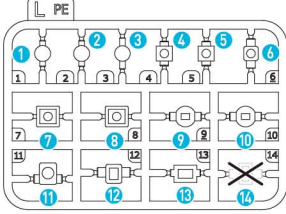
Hパーツ×1
(PS製)



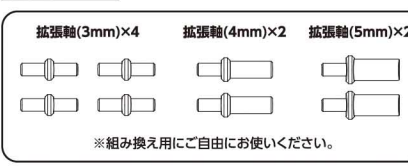
Iパーツ×2
(PS製)



Lパーツ×1
(PE製)



拡張軸セット



この製品に関するお問い合わせ

グッドスマイルカンパニーカスタマーサポート
<https://support.goodsmile.com/>

※左記QRコードからもアクセスいただけます。
※商品不良に関するお問い合わせはwebサイトの
お問い合わせフォームをご利用ください。

パーツ販売について

■紛失や破損時のアフターサポートとして、パーツ販売(ランナー単位)を承っております。■パーツ販売は在庫がなく次第終了いたします。ご注文前に必ずカスタマーサポートページより在庫確認を行ってください。お問い合わせまたは左記QRコード[在庫確認ページ]より在庫確認が可能です。■ご注文方法は、郵送・WEB申し込みの2種類をご用意しております。左記QRコードをご確認の上、ご希望の方法にてお申込みください。■お客様よりご提供いただきました個人情報はパーツ請求品の発送対応以外には使用いたしません。

カラーガイド

●塗装レシピ参考資料:
ガイアノーザンナップ参照。

本体緑	018:エメラルドグリーン+ GSIクレオス:GX4 キアライエロー+ GSIクレオス:C5 ブルー+ GSIクレオス:C1 ホワイト
本体薄緑	本体緑+ GSIクレオス:C1 ホワイト
本体クリアパーツ	042:クリアオレンジ
関節色	NP001:メカサフ ヘヴィ
関節部 ゴールド	124:スターブライトプラス+ Ex-08:Ex-ゴールド少々



武器色 NP005:メカサフ スーパーヘヴィ

脚部は専用パーツを使用して組み替えることで、2種類の脚部形態を選択可能。

帝国の強さを支える兵士達の相棒。千変万化のオールラウンダー。

■ヴェクトール

ヴェクトールはフェイェトール帝国で制式採用されているグリムリーパーで、βグレードにカテゴライズされた一般兵にも広く使用されている機体である。帝国は国軍と騎士団という指揮系統の異なる2つの戦力を保有しているが、ヴェクトールはそのどちらにも採用されていることから、帝国内でのその信頼性の高さが伺える。

出力系統をすべて外付けにすることによって、ユングフラウユニット及び四肢モジュールは極限までシンプルな構造に設計されているため、生産性に加えてメンテナンス性も高く現場での評価も上々で、その名が示すとおり豊富なオプションユニットの付け替えによって様々な指向性を持つ機体に変化し、あらゆる戦場に投入され局地専用機体に劣らない性能を発揮する。

また、脚部はモジュールの変更なしでセッティングによって2種類の特性、走破性が高く、荒地などの足場の悪い場所への対応性の高い逆関節ポジション (Position R)、都市部などの整地での安定性、旋回性能、つまり小回りの効く直立関節ポジション (Position S) を任意に選択することが可能で、このような特徴からもヴェクトールの汎用性の高さを伺い知ることが出来る。

機体カラーのロビンズエッグブルーは帝国軍の制式採用カラーで、この帝国軍機を象徴するカラーはあらゆる戦場で畏怖とともに「インベリアルブルー」と呼ばれている。

開発と生産は帝国内に本社があるグレートダイナミクスが行っている。帝国内でも有数の軍需企業であるグレートダイナミクスには帝国も多額の注文を行っており、輸出用のリーパー、グリムリーパーの生産は、グレートのみならず帝国にも大きな利益をもたらしている。

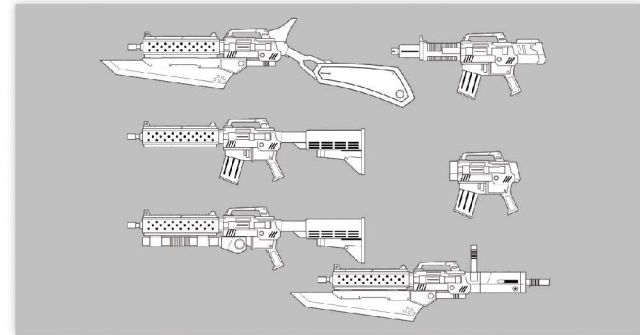
帝国制式採用のヴェクトールも国外や市場向けにデチューンされたモデル「ヴェクトリア」が生産、出荷されており、コスト面と扱いやすさから人気は高いが、それ以上に「帝国で制式採用されている機体と同型機」という意味で人気を博しているという側面も大きく、いつの時代も強者は憧れの対象だということだろう。

また、同社はヴェクトールと同時に共通のユングフラウユニットを使用したリーパー、「グレッツァー」もロールアウトさせており、両機共に現場での評価も高い。リーパーとβグレードグリムリーパー間でのパーツの互換性はαグレードのそれよりも非常に高く、ソフト側のセッティングもほぼ無調整で換装することができる。同時運用を想定して開発された両機の間ではそれはより顕著であり、極端な話、整備班がない状況でもパイロットだけのモジュール、ユニットの交換も可能で、その相性の良さを活かした戦術、部隊編成なども積極的に取り入れられている。

スペックの高さだけが機体の評価基準ではないことを体現した機体で、実際αグレードを操縦できるリンカーでも扱いやすいヴェクトールを好んで使用する者、ヴェクトールのおかげでリンカーは不要といった一般兵も多く、同じく帝国のαグレードの名機と呼ばれるリッターシリーズとは違った意味で、ヴェクトールもまた名機と呼ばれるに値する機体なのだ。

■FVW-52 可変兵装システム【オルタレージ】

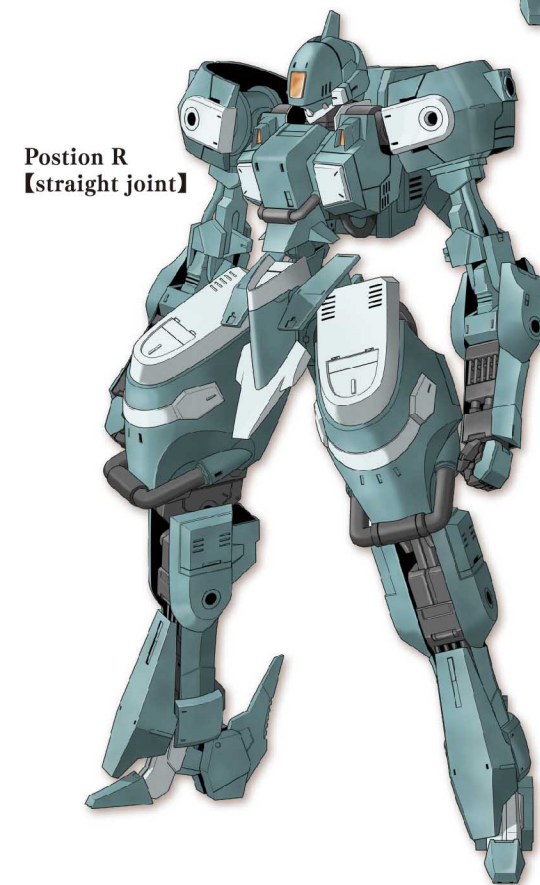
組み替え可能な帝国軍グリムリーパーのメインウエポン。クリプテッド顕発生地帯が多い帝国らしく、近～中距離に特化した武装で、特にソードは単体での運用も可能である。



β GR「ヴェクトール」
帝国軍仕様

Position R
【reverse joint】

Position R
【straight joint】



フェイェトール帝国紋章

A Certain Tale ～とある物語～

■EPISODE:
城塞都市攻略戦 ～砂漠に岩の降るごとく～

「第三波来るぞ、当たるなよ!」

フェイェトール帝国に隣接する国、パラエスタ。その領内に広がる砂漠化した丘陵地帯の向こうにそびえる城塞都市、アックルン。その、まるで中世から抜け出てきたような城壁の上には、その趣には似つかわしくない最新の砲撃兵器と、原始的な投擲器が並び、丘陵地帯を抜くようとするフェイェトール帝国陸軍第48機械化混成部隊、通称ビリン隊の進軍を阻んでいる。砲撃はセオリーどおりに避けていれば良い。厄介なのは投擲される大量の岩石の方だ。その中にランダムで爆薬が仕掛けられており、グリムリーパーと当たれば無視出来ないダメージを被る。畢竟、飛来する岩石をすべて避けるつもりで進まなければならない。遮蔽物もない砂地ではいささか分が悪い。「全機、ポジションRで前進。足場が悪い。足を取られるな!」

現代科学の推を集めたグリムリーパーが、たかが石つぶてに足止めを食うとは。

グリムリーパー、ヴェクトールに搭乗して本作戦を指揮するビリン隊の隊長、ビリン・レドナー大尉は歯噛みしていた。

ヴェクトールは、彼が所属しているフェイェトール帝国軍が誇るβグレードグリムリーパーである。

βグレードとは、その上位に位置するαグレードグリムリーパーがその性能を発揮するための特別な処置「リンカー」を施さなければ動かすこともままならないのに対し、彼のような一般兵士でも扱えるグリムリーパーの総称であるが、この汎用性に富んだヴェクトールは戦場に於いて決してαグレードに引けを取らないと思っている。要はパイロットの相性と練度、そして運用方法次第だ。

気に入らないのは、あのスカした騎士団どもも同じ機体を使っているということだ。それだけヴェクトールが優れた機体だという証左でもあるが。「少尉、自分はポジションSのまま突っ切りたいであります!ダメ?」

若く、戦場には不釣り合いなほど明るいフィフス上級曹長の声がコックピットに響く。彼のヴェクトールは先ほどから同じ機体とは思えない俊敏な機動と正確な射撃でこの難局を難なく進んでいる。あの動きを目の当たりにしたら、ヴェクトールの可能性を信じたくなる。「天才は好きなようにしろ。全機、いつものようにフィフス上級曹長のことは気にするな。着いて行ってもお前らがバカを見るだけだ、いいな!」

「コピー、大尉」

全員から苦笑混じりの返事が返ってくる。天才は自由にさせておくに限る。無理に足並みを揃えさせても彼の持ち味が発揮されない、こちらが彼に合わせるのでも無理だ。こういう時、帝国軍の自由な気風はありがたく思う。それにしても。あいつのヴェクトール、また形が変わってるな。またグレートに無茶なおなりでもしたのか。あいつにかかったらグリムリーパーもおもちゃみたいなものか。まあ、結果を出してくれば問題はないがな。お陰で見られがちだが、完全実力主義の帝国に於いては個々の実力、個性を縛らないことこそがその強さの源となっている。

かいつうビリンもそのような気風に憧れて他国からやってきた志願兵上がりだ。「大尉、厄介な奴らが出てきました!」

彼の右腕であるギルザリア准尉だ。「ああ、確認した。ドラゴンライダーか…アイツ、オレたちのお株を奪いやがって」

ドラゴンライダー。機械によって竜種のクリプテッドの自我を奪い、脳波コントロールによって操り自陣の戦力とする「デイル」という戦法がある。ほとんどは電波による遠隔操縦だが、いま確認したようにデイル用のエグゾスケルトンを装着し、自らクリプテッドの背に跨って攻撃に参加する者もいる。この戦法だと電波の受信可能範囲を気にすることなくデイル出来るし、何より自身を戦力としてカウントできる。彼らのような者はその勇猛さを讃えドラゴンライダーと呼ばれているが、これはそもそも竜種のクリプテッドの発現が多い帝国領で編み出された戦法なのだ。

原始的な投擲器にドラゴンに跨った戦士に中世の城塞都市。まるでファンタジー映画じやないか。そんな戦場に自分がいることに不思議な思いを抱きつつ、身を隠す場所もなく飛行能力のない自分達にとっては不利な状況を打開するべく思索する。

「どうします?少尉、待機させてある航空部隊を出しますか?」「まだだギルザリア。彼らの出番は向こうさんのグリムリーパー部隊を引っ張り出してからだ。我々が城壁に迫り着けば少なくとも砲撃は止む。避けきつてみせろ」

「簡単に言ってくれませんか少尉。ですが、了解です。しかし、これ、盲打ちでしか?」「おそらくな。だが、そこにある程度の意図は見えてとれる。投擲で面を押さえ我々の進路を誘導したところに砲撃を加えて弱体化。そしてドラゴンライダーで各個撃破、というところか」「通常の岩石だったら脅威判定は低かったかもしれませんが」「そこだよ。いやらしいやり方だ。岩石を無視するわけにいかなくっている。だが、そこに向こうさんの意図が透けて見えるような気がするさ」



飛来する岩石と砲弾を避けつつ進むビリン隊のヴェクトール。
足場の悪い砂地では対応性の高い逆関節脚部がその効果を十二分に発揮する。

Variations ～バリエーションズ～

■β GR「ヴェクトール」
フェイェトール帝国陸軍
ビリン隊所属機 “フィフスカスタム”

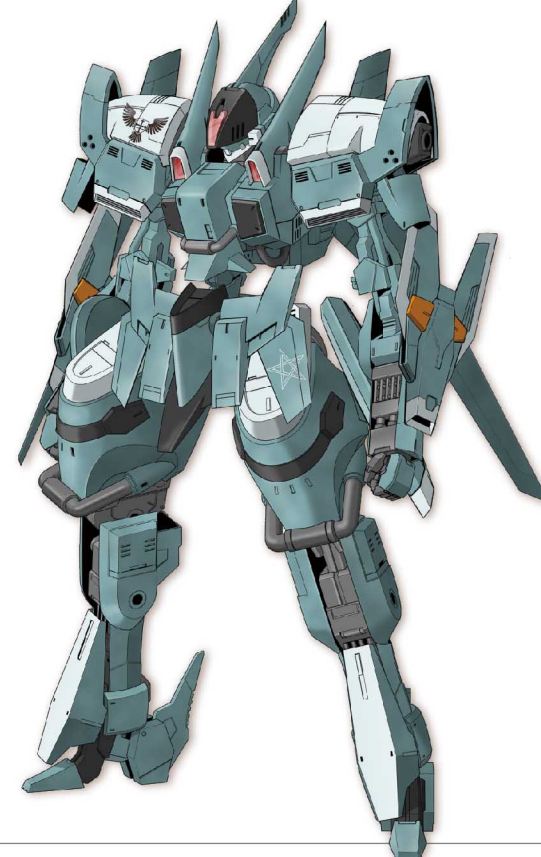
フェイェトール帝国陸軍第48機械化混成部隊、通称ビリン隊に所属するフィフス・葛城上級曹長専用のカスタム機。

フィフス上級曹長はリンカーを施していない兵士でありながら、リンカー(αグレードグリムリーパーを操縦するためにリンカーを施す、モジュールリンクデバイスを埋め込んだパイロット)顔負けの卓越した操縦技術を持っている。左のフィフスカスタムはグレート社のαグレードグリムリーパー「Ex-キャリバー」のパーツをβグレードのヴェクトールに無理矢理組み込んだもので(共通規格なのでハードを取り付けることは容易でもソフトのセッティングが非常に困難)本来であればβグレードのフレームが悲鳴をあげてしまうほど高出力のパーツなのだが、フィフス上級曹長は難なく乗りこなし全の性能を発揮している。

「α GRや他の高性能なβ GRに乗るよりも、スタンダードな機体であるヴェクトールで戦果を挙げた方が自分の実力をアピールできる」と公言して憚らないフィフスはグレートダイナミクスとしては格好のモニターと言っても良いのだが、規格外すぎて参考にならないというのが実情らしい。しかし、フィフス本人は面白がって高性能なパーツを要求しているので、出撃ごとに異なるパーツがセットされているために形状が定まらない機体である。一兵卒に過ぎない彼が巨大企業であるグレートダイナミクスにこのような要求が出来るのも謎であるが、強さを求めるための行動は是とされる帝国に於いては、前述のように互いにとってWin-Winの関係であるため、周囲もあまり気にはしていないようだ。



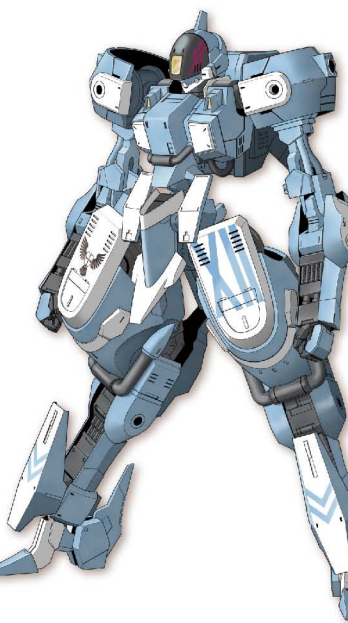
フィフス・葛城上級曹長
パーソナルマーク



■帝国陸軍東方討伐部隊
所属機



■帝国空軍「ブリッツェン」
所属機



■特務部隊「XXR」所属機
特殊迷彩仕様

